



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 スーパーバッグ株式会社

コード番号 3945 URL <http://www.superbag.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福田晴明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 吉田精一

TEL 04-2938-1244

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	16,703	△1.7	△305	—	△332	—	△103	—
26年3月期第2四半期	16,995	3.0	△306	—	△223	—	△155	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △35百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △7百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△6.77	—
26年3月期第2四半期	△10.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,959	3,263	17.7
26年3月期	18,656	3,275	17.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,172百万円 26年3月期 3,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	6.00	6.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,600	2.0	100	—	50	—	250	—	16.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	16,861,544 株	26年3月期	16,861,544 株
27年3月期2Q	1,552,044 株	26年3月期	1,550,001 株
27年3月期2Q	15,310,529 株	26年3月期2Q	15,316,297 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）におけるわが国経済は、政府と日銀による経済政策・金融政策等により企業収益に緩やかな回復が見られるものの、個人消費は消費税率引き上げ後の戻りが鈍く、また、海外景気の下振れや地政学的リスクの不安感もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

一方当社グループを取り巻く経営環境は、原材料市況の上昇や円安による輸入原材料および製品の価格上昇、消費税増税後の反動や夏場の天候不順の影響などから、一段と厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,703百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業損失305百万円（前年同四半期は営業損失306百万円）、経常損失332百万円（前年同四半期は経常損失223百万円）、四半期純損失103百万円（前年同四半期は四半期純損失155百万円）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、10ページ「セグメント情報等」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用433百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、主力の角底袋や手提袋の販売数量の減少などにより、売上高は前年同四半期に比べ493百万円減少して6,015百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は売上高減少はあったものの、製造コストの削減や生産効率の向上に努め、また売上高の減少に伴い販売管理費も減少し、前年同四半期に比べ微増の183百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、主力のレジ袋は販売数量が減少したものの売価修正により販売金額が増加したことなどから、売上高は前年同四半期に比べ338百万円増加して6,991百万円となりました。セグメント損益（営業損益）は原材料価格および仕入価格の上昇と円安に売価修正が追いつかず、前年同四半期に比べ20百万円増加しましたが、79百万円の損失となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・バンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、ファーストフード資材が増加したものの包装用品や販売用品の減少などから、売上高は前年同四半期に比べ137百万円減少して3,696百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は売上高減少や仕入商品の利益率が低下、これを販売管理費で補えず、前年同四半期に比べ24百万円減少して23百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ696百万円減少して17,959百万円となりました。流動資産は、電子記録債権が250百万円増加、たな卸資産が228百万円増加した一方、現金及び預金が370百万円減少、受取手形及び売掛金が681百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ583百万円減少の11,761百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の時価評価差額が114百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却費193百万円、無形固定資産の減価償却費55百万円により減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ112百万円減少の6,197百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ684百万円減少して14,696百万円となりました。これは、電子記録債務が1,581百万円増加、短期借入金及び長期借入金が612百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が2,277百万円減少、厚生年金基金解散損失引当金が215百万円減少、退職給付に係る負債及び役員退職慰労引当金が332百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12百万円減少して3,263百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が75百万円増加、期首における退職給付債務の変動により利益剰余金が115百万円増加した一方、剰余金の配当で91百万円減少、四半期純損失計上により103百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の17.0%から17.7%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ370百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況および増減要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は、前年同四半期より558百万円多い679百万円となりました。

これは、減価償却費248百万円、売上債権の減少434百万円などにより資金が増加し、税金等調整前四半期純損失113百万円、たな卸資産の増加228百万円、仕入債務の減少696百万円などにより資金が減少したことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、前年同四半期より297百万円少ない160百万円となりました。

これは、投資有価証券及び固定資産の取得による支出162百万円などにより資金が減少したことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、前年同四半期より6百万円少ない519百万円となりました。

これは、借入金が純額で633百万円増加したことなどにより資金が増加し、リース債務の返済による支出24百万円、配当金の支払額89百万円などにより資金が減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米国では緩やかな回復が期待されるものの、欧州や中国、新興国経済の減速懸念や地政学的リスクなどから、十分な警戒が必要であります。一方わが国経済も、消費税増税後の落ち込みから持ち直しの動きが見られるものの、個人消費の回復は緩やかであり、依然として先行きは不透明な状況です。従って、当社を取り巻く経営環境も、原材料市況の上昇高止まりと円安の影響とも相俟って、厳しい状況が続くものと認識しております。

平成27年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成26年10月21日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が178百万円減少し、利益剰余金が115百万円増加しております。なお、これに伴う当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,594	1,223
受取手形及び売掛金	6,343	5,661
電子記録債権	640	890
商品及び製品	2,475	2,615
仕掛品	303	313
原材料及び貯蔵品	453	532
繰延税金資産	182	82
その他	356	443
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	12,345	11,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,354	6,315
減価償却累計額	△4,867	△4,896
建物及び構築物 (純額)	1,486	1,419
機械装置及び運搬具	10,601	10,520
減価償却累計額	△9,668	△9,634
機械装置及び運搬具 (純額)	933	885
土地	1,123	1,123
リース資産	412	412
減価償却累計額	△53	△73
リース資産 (純額)	359	339
建設仮勘定	12	24
その他	843	830
減価償却累計額	△773	△767
その他 (純額)	70	62
有形固定資産合計	3,986	3,854
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	29	4
その他	80	48
無形固定資産合計	125	68
投資その他の資産		
投資有価証券	1,434	1,534
破産更生債権等	10	7
事業保険金	80	80
差入保証金	256	256
繰延税金資産	430	407
その他	5	5
貸倒引当金	△19	△17
投資その他の資産合計	2,198	2,274
固定資産合計	6,310	6,197
資産合計	18,656	17,959

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,133	5,855
電子記録債務	-	1,581
短期借入金	1,795	2,050
リース債務	48	47
未払金	463	523
未払法人税等	105	17
未払消費税等	1	66
賞与引当金	221	215
厚生年金基金解散損失引当金	215	-
設備関係支払手形	96	25
設備関係電子記録債務	-	3
設備関係未払金	3	8
その他	132	136
流動負債合計	11,218	10,532
固定負債		
長期借入金	2,554	2,911
リース債務	343	320
役員退職慰労引当金	327	203
環境対策引当金	4	4
退職給付に係る負債	932	724
固定負債合計	4,162	4,163
負債合計	15,380	14,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,450	1,450
利益剰余金	756	675
自己株式	△257	△258
株主資本合計	3,323	3,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	123
繰延ヘッジ損益	△0	27
為替換算調整勘定	38	△10
退職給付に係る調整累計額	△241	△210
その他の包括利益累計額合計	△155	△69
少数株主持分	107	90
純資産合計	3,275	3,263
負債純資産合計	18,656	17,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	16,995	16,703
売上原価	14,687	14,510
売上総利益	2,308	2,192
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,252	1,193
給料及び手当	745	728
賞与引当金繰入額	108	101
退職給付費用	50	49
賃借料	91	87
旅費及び交通費	52	45
その他の経費	314	292
販売費及び一般管理費合計	2,615	2,498
営業損失(△)	△306	△305
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	11
貸倒引当金戻入額	0	-
持分法による投資利益	19	16
為替差益	71	14
受取賃貸料	15	15
作業くず売却益	3	3
雑収入	16	13
営業外収益合計	145	75
営業外費用		
支払利息	49	53
貸倒引当金繰入額	-	1
役員退職慰労金	-	34
その他	12	12
営業外費用合計	62	101
経常損失(△)	△223	△332
特別利益		
固定資産売却益	1	-
固定資産受贈益	-	3
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	-	215
保険差益	10	-
特別利益合計	12	218
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△212	△113
法人税、住民税及び事業税	13	10
法人税等調整額	△61	△11
法人税等合計	△48	△1
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△163	△112
少数株主損失(△)	△7	△8
四半期純損失(△)	△155	△103

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△163	△112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	75
繰延ヘッジ損益	△10	27
為替換算調整勘定	100	△54
退職給付に係る調整額	-	31
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△2
その他の包括利益合計	155	76
四半期包括利益	△7	△35
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14	△18
少数株主に係る四半期包括利益	7	△17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△212	△113
減価償却費	237	248
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14	△105
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	-	△215
未払債務の増減額(△は減少)	△9	58
未収入金の増減額(△は増加)	32	5
受取利息及び受取配当金	△19	△11
支払利息	49	53
為替差損益(△は益)	△71	△11
持分法による投資損益(△は益)	△19	△16
保険差益	△10	-
固定資産売却損益(△は益)	△1	-
固定資産受贈益	-	△3
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	602	434
たな卸資産の増減額(△は増加)	△227	△228
仕入債務の増減額(△は減少)	△496	△696
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15	65
その他	15	△33
小計	△121	△578
利息及び配当金の受取額	57	47
利息の支払額	△47	△52
法人税等の支払額	△59	△96
保険金の受取額	49	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△121	△679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△140	△7
固定資産の取得による支出	△338	△154
固定資産の売却による収入	3	-
貸付金の回収による収入	0	0
その他	16	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△458	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	863	1,050
短期借入金の返済による支出	△621	△822
長期借入れによる収入	960	950
長期借入金の返済による支出	△557	△543
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△28	△24
配当金の支払額	△90	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	525	519
現金及び現金同等物に係る換算差額	98	△48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	44	△370
現金及び現金同等物の期首残高	1,326	1,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,370	1,197

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,508	6,653	3,833	16,995	—	16,995
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,508	6,653	3,833	16,995	—	16,995
セグメント利益又は損失(△)	181	△99	48	130	△437	△306

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△437百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,015	6,991	3,696	16,703	—	16,703
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,015	6,991	3,696	16,703	—	16,703
セグメント利益又は損失(△)	183	△79	23	128	△433	△305

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△433百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

なお、これに伴う当第2四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。